

## 鍼灸学科 3つのポリシー

### ディプロマポリシー

- 【知識】
1. 高い教養と倫理観を身につけている。
  2. 鍼灸師としての専門知識を修得している。
  3. 医療を取り巻く環境の変化を踏まえた統合医療への幅広い知識を修得している。
- 【技能】
1. エビデンスに基づいた判断・施術・評価に必要な技能を身につけている。
  2. 伝統医学の理論体系に基づいた判断・施術・評価に必要な技能を身につけている。
  3. 自ら問題を発見、課題を設定し、その解決のための実践力を身につけている。
  4. 人々の多様なニーズに柔軟に対応できる専門技術を身につけている。
- 【態度】
1. 他者の心を理解し、他者のために行動できる。
  2. 探求心を持って自己研鑽に努めることができる。
  3. 多様性を理解しグローバルに活躍することができる。
  4. 生涯にわたって社会に貢献し自ら生き抜くことができる。

### カリキュラムポリシー

#### 1. カリキュラムの編成方針

鍼灸学科の教育課程は、ディプロマポリシーに掲げた目標を達成するために、「はり師及びきゅう師養成施設指導ガイドライン」の教育の内容を基本として、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」の3つに分けてカリキュラムを編成する。

#### (1) 基礎分野

- ① 高い教養および倫理観を身につけ、科学的・理論的思考力を育て、人間性を磨き、自由で主体的な判断と行動を培う。また、他者の心を理解し、他者のために行動ができる態度を身につける。
- ② 国際化及び情報化社会に対応してグローバルに活躍できる能力を養うため、医療福祉分野の科目群および「外国語（中国語）」「情報リテラシー」の科目を配置する。
- ③ 患者への適切な対応に必要なコミュニケーション能力を養うため、「心理学」の科目を配置する。

#### (2) 専門基礎分野

- ① 鍼灸師としての専門知識を身につけ、人体を理解し、疾病についての理解・観察・判断する能力を養うため、「人体の構造と機能」「疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進」の科目群を配置する。
- ② 保健医療福祉制度の中におけるはり師・きゅう師の位置付けや職業倫理について学び、また、人々が生涯を通じて、健康や障害の状況に応じて社会資源を活用できるように必要な知識と基礎的な能力を養うため、「保健医療福祉とはり及びきゅうの理念」の科目群を配置する。

#### (3) 専門分野

- ① 「はり、きゅう」施術の枠組みと理論を理解し、系統的な「はり、きゅう」施術を行うことのできる基礎的な能力を養うため、「基礎はりきゅう学」の科目群を配置する。
- ② 「はり、きゅう」施術に必要な知識と技術を修得し、問題解決能力、適・不適の判断能力を養い、エビデンスに基づいた、および伝統医学の理論体系に基づいた判断・施術・評価に必要な技能を習得するため、「臨床はりきゅう学」の科目群を配置する。

- ③ 現代社会における現状と課題を踏まえ、はり師・きゅう師の果たすべき役割について学び、鍼灸に関する社会的ニーズの多様化に柔軟に対応できる能力を養うため、「社会はりきゅう学」の科目群を配置する。
- ④ 人々の多様なニーズに柔軟に対応できる観察力、分析力を養い、専門技術をもって適切な施術ができる能力を修得するため、はり・きゅうの基礎および応用実習の科目群を配置する。
- ⑤ はり師・きゅう師としての臨床における実践的能力及び保険の仕組みを理解し、患者への適切な対応を学ぶ。また、施術者としての責任と自覚を養い、自ら問題を発見、課題を設定し、その解決のための実践力を習得するために「臨床実習」の科目を配置する。
- ⑥ はり・きゅう学、医学及び人間教育等の学習を総合的に理解し、医療を取り巻く環境の変化を踏まえた統合医療への幅広い知識を学ぶ。さらに生涯を通じて地域や広く社会に貢献できる能力を養い、探求心を持って自己研鑽に努めると共に、自ら生き抜くことができる態度を身につける事を目的に総合領域の科目群を配置する。

## 2. カリキュラムの実施方針

以下の点に留意しつつカリキュラムを実施する。

- ① 問題解決能力やコミュニケーション能力を高めるとともに、自己研鑽が図れるようアクティブラーニングを積極的に取り入れる。
- ② 自主的・自立的な学習習慣を身に付け、セルフマネジメント能力を高めるために必要な課題を課す。
- ③ 定期的に学習理解度・習熟度の確認を行い、その結果を学生にフィードバックするとともに、多面的な評価を行う。
- ④ 学生一人ひとりの学生生活や学習状況を把握し、学生個々に合わせた指導やサポートを行う。
- ⑤ ディプロマポリシーに掲げる「知識」「技能」「態度」の習得をより一層図り、将来像の具現化を目指すため、授業科目群に加えてゼミを設ける。

## アドミッションポリシー

### ■ 求める人材として重要視すること

1. 医療・福祉・美容・健康・スポーツ分野に関心を持っている。
2. 他人を敬い、謙虚さと思いやりの心を持っている。
3. 「成長したい」「自分を変えたい」と思っている。

### ■ 有していると望ましいこと

- ・ 医療人として先駆的な視点を持ち、主体的に活躍したいと思っている。
- ・ 柔道整復師、鍼灸師を通じて統合医療に興味関心を持っている。
- ・ 多様性を受け入れ、グローバルな視野をもって活躍したいと思っている。